

### まるおかじょうあと 3. 丸岡城跡

所在地：坂井市丸岡町霞1丁目59番地

調査原因：内容確認

調査期間：平成27年6月15日～7月28日

調査主体：坂井市教育委員会

調査面積：約50㎡

時代：近世～現代



位置図 (S=1/50,000)

**調査の概要** 丸岡城の城山部の調査(5カ年計画)の3年目の調査で、丸岡城天守前広場の内容確認調査を行いました。

平成27年度は、遺構の残存状況を確認するため、幅約1mの細長いトレンチを十字に設定しました。柱穴を検出した箇所については、一部拡張して調査を行いました。

**遺構と遺物** トレンチが十字に交差する地点および、東西方向のトレンチは深さ約1.5mの落ち込みがあり、岩盤を掘り込んでいました。

トレンチ南側においては柱穴を複数箇所検出しました。トレンチ西側の掘り込みの地山(岩盤)の直上の層及び、一部の柱穴からは、笏谷石製品や陶磁器などを検出しました。なお、出土した陶磁器は17世紀代のものが多いです。

遺物全体で見ると、笏谷石製の瓦が多く、その他の笏谷石製品を含めると出土量は全体の8割程度の大部分を占めます。その他に、赤瓦、施釉瓦、釘(近代以降の丸くぎ)、陶磁器、土師皿などが出土しています。

製作時期が17世紀代の陶磁器が柱穴に伴って1点検出されており、南側の一部の柱穴は江戸時代前期の遺構である可能性が高いことも分かっています。

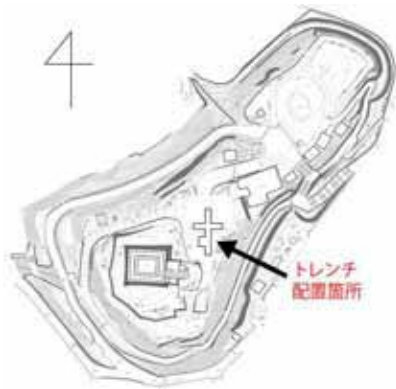
**まとめ** 今回検出した柱穴からはほとんど遺物を検出していない為、時期の特定はできていません。

丸岡城の城山部については、丸岡城創建以前には國神神社があり、丸岡城創建後は丸岡城の御殿がありました。明治の廃藩置県以降は長昌庵(長昌寺)が建っていたことが文献等から分かっています。

今回検出した柱穴がどの時期のどの建物に帰属する遺構なのか、今後の遺物の検討や追加の調査であきらかにしていきたいと思えます。

城郭の立地について、福井城や金沢城では、造成(盛土)を行いその上に建物を建てていたことが発掘調査で分かっています。しかし、丸岡城は、岩盤を削り、建物を築いた可能性が高いことが今回の調査で分かりました。

(青山 航)



第1図 調査区配置図



写真1 西側遺物検出状況



写真2 東側全景写真



第2図 トレンチ平面実測図



写真3 南側柱穴検出状況



写真4 SP01 陶磁器検出写真